

表11 医師以外の職種が行うための要件(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験がある	% 研修プログラムを新設し、それを受講すること
(1)循環・体液管理			
末梢静脈路(留置針使用)確保	16.0	30.7	43.0
輸液剤(等張液；リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	32.8	29.1	26.3
輸液剤(高張液；グリセロール、マニトール等)の投与	28.7	30.0	24.4
血液製剤の投与	22.1	29.3	24.4
昇圧剤の投与	20.1	29.4	26.4
降圧剤の投与	20.0	29.2	26.5
抗不整脈薬の投与	17.3	25.9	24.7
利尿剤の投与	23.8	31.9	26.3
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	26.0	32.3	27.6
高血糖時のインスリンの投与	25.6	30.9	27.5
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	17.6	23.7	23.8
CVカテーテルの抜去	7.1	16.1	16.5
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	37.4	31.8	16.1
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	29.1	36.1	20.2
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	23.7	33.2	18.3
(2)総合的薬剤管理			
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	7.0	13.6	14.2
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	8.4	14.9	13.4
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	10.8	20.6	16.3
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	19.1	33.2	20.2
注射薬の溶解液の選択および溶解量の決定	13.0	25.1	17.1
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	7.0	14.2	14.9
薬剤の経管投与時の錠剤粉碎・脱カプセル	39.6	26.9	14.8
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	19.2	21.0	16.4
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	7.3	13.6	15.3
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	7.8	14.6	18.9
副作用早期発見・発生防止のための採血	41.5	24.8	16.7
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	9.5	15.6	17.4
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	42.3	24.7	16.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	25.2	28.0	14.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	52.9	21.8	11.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	53.4	20.7	11.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	50.2	22.7	12.6
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	53.7	20.3	11.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	48.8	23.2	12.6
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)			
抗菌薬の初回処方	3.9	4.9	7.1
抗菌薬の継続処方	7.8	13.3	16.0
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	5.0	7.7	11.6
抗菌薬の投与実施	38.6	22.5	15.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	10.8	16.7	20.8
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	46.5	23.9	16.6
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	9.9	13.8	19.2
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	46.9	23.8	16.0

表11 医師以外の職種が行うための要件(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験がある	研修プログラムを新設し、それを受講すること
(4) 栄養管理			
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養製剤の処方	4.9	10.0	22.4
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養製剤の処方の評価のための検査オーダー	6.0	11.7	23.7
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養製剤の処方の評価検査のための採血	45.8	23.7	15.6
経腸栄養剤の処方	5.8	13.6	29.2
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	7.2	11.8	25.0
経腸栄養剤の評価のための採血	47.4	23.5	15.8
静脈栄養製剤 (IVH) および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	42.7	28.1	11.7
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	42.7	27.6	12.3
(5) 疼痛緩和			
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	5.7	11.5	37.4
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	5.8	12.9	41.5
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	6.6	13.0	40.7
硬膜外チューブの抜去	3.8	11.6	16.0
鎮痛剤の持続皮下投与	9.3	19.4	25.1
(6) 身体状況査定			
動脈血採血 (Aラインからの採血)	18.1	29.4	20.2
動脈血採血 (直接動脈穿刺による採血)	3.8	12.7	18.0
簡易血糖測定	52.1	23.7	11.3
胸部・腹部レントゲン撮影	47.5	17.2	16.3
胸部・腹部超音波検査	31.5	21.0	21.5
緊急血液検査 (血算、生化学等)	43.4	21.9	15.0
心電図12誘導検査	43.7	28.1	15.8
肺動脈喫入圧測定	11.1	16.9	13.4
Aラインの挿入・入れ替え	2.2	7.2	12.7
Aラインの抜去・圧迫止血	13.0	23.9	14.7
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	4.6	10.9	12.1
(7) 呼吸管理			
酸素投与の開始 (マスクまたはカヌラ)	35.1	28.4	15.5
トラヘルパー挿入	1.6	6.1	15.4
気管挿管 (経口挿管) の実施	1.0	5.1	26.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	4.6	16.0	33.9
鎮静剤の投与 (麻薬を除く)	17.9	27.1	24.4
麻薬性鎮静剤の投与	12.9	22.1	23.0
挿管患者の呼吸機能評価 (抜管可否の査定)	2.8	13.2	31.1
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	3.4	14.6	37.1
ネブライザー用薬液の処方	7.7	18.1	22.9
気管挿管チューブの抜管	2.2	8.1	19.7
気管挿管の再挿管の実施	.9	4.1	18.0
NPPV開始	3.5	11.7	24.4
気管切開カニューレ (カフ付き・カフなし) の交換	3.0	15.3	25.3

表11 医師以外の職種が行うための要件(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験がある	研修プログラムを新設し、それを受講すること
(8)創傷・ドレナージ管理			%
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	5.2	13.3	33.2
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	2.2	8.5	28.7
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	1.6	3.5	11.1
表創(非感染創)の縫合	1.3	3.5	13.1
体表面創の抜糸・抜鉤	2.3	8.5	18.9
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	6.6	12.7	14.1
胸腔穿刺	1.2	1.1	1.7
心嚢穿刺	1.2	1.1	1.2
腹腔穿刺	1.2	1.2	2.4
腹腔ドレーンの抜去	1.5	4.1	7.2
心嚢ドレーンの抜去	1.4	1.9	4.3
胸腔ドレーンの抜去	1.5	2.4	5.3
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	7.3	11.7	13.7
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	28.8	30.7	14.0
(9)消化管管理			
飲水可能か否かの査定	9.1	28.4	18.6
飲水開始の決定	7.0	21.8	16.0
食事開始の決定	6.2	19.7	15.4
食事内容の決定・変更	16.1	35.9	17.7
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	11.1	27.4	21.3
イレウス管の挿入	1.8	4.0	7.1
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	7.3	12.3	18.1
緩下剤の処方	9.5	22.1	21.2
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	10.3	23.3	21.3
グリセリン浣腸の処方・実施	19.3	32.4	21.6
(10)活動			
安静度・活動範囲の決定(指示)	9.3	36.6	15.5
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	9.9	38.2	15.5
(11)説明			
患者・家族への病状説明	6.4	17.1	9.2
患者・家族への治療計画説明	8.9	19.5	9.8
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	7.8	32.8	21.4
(12)その他			
診断書の記載	5.8	5.6	14.9
手術記録の記載	6.0	4.6	8.5
診療情報提供書・紹介状の記載	7.0	9.8	18.0

添付資料1 看護師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	93.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	92.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	92.9
簡易血糖測定	90.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	89.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	87.0
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	84.7
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	82.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	80.3
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	79.8
経腸栄養剤の評価のための採血	79.6
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	77.5
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	76.9
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	76.9
副作用早期発見・発生防止のための採血	72.9
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	72.5
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	71.2
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	70.8
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	69.7
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	68.7
高血糖時のインスリンの投与	66.2
抗菌薬の投与実施	64.3
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	64.1
末梢静脈路(留置針使用)確保	61.6
利尿剤の投与	60.1
心電図12誘導検査	57.1
血液製剤の投与	55.3
昇圧剤の投与	52.1
降圧剤の投与	50.6
グリセリン浣腸の処方・実施	50.0
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	42.9
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	42.6
動脈血採血(Aラインからの採血)	41.8
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	41.6
抗不整脈薬の投与	40.6
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	38.2
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	33.2
麻薬性鎮静剤の投与	30.5
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	29.0
Aラインの抜去・圧迫止血	27.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	26.9
鎮痛剤の持続皮下投与	26.3
緊急血液検査(血算、生化学等)	23.7
食事内容の決定・変更	19.5
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	17.4
飲水可能か否かの査定	17.4
患者・家族への治療計画説明	17.4
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	17.0
患者・家族への病状説明	15.3
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	14.5
肺動脈嚙入圧測定	13.9
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	13.4
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	11.6
CVカテーテルの抜去	11.3
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	11.1
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	10.7
安静度・活動範囲の決定(指示)	10.3

添付資料1 看護師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	9.4
ネブライザー用薬液の処方	9.2
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	8.2
飲水開始の決定	8.2
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	7.8
トラヘルパー挿入	7.1
NPPV開始	7.1
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	6.9
硬膜外チューブの抜去	6.5
食事開始の決定	6.5
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	5.7
抗菌薬の継続処方	5.3
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	4.4
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	4.4
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	4.2
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	4.0
緩下剤の処方	4.0
診療情報提供書・紹介状の記載	3.6
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	3.4
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	3.2
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	3.2
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	3.2
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	3.1
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	3.1
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の・用法設計	3.1
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	3.1
気管挿管チューブの抜管	3.1
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	2.9
経腸栄養剤の処方	2.9
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	2.7
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	2.5
体表面創の抜糸・抜鉤	2.3
抗菌薬の初回処方	2.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	2.1
手術記録の記載	1.9
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	1.7
胸部・腹部レントゲン撮影	1.5
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	1.3
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	1.3
気管挿管(経口挿管)の実施	1.3
腹腔ドレーンの抜去	1.3
胸部・腹部超音波検査	1.1
Aラインの挿入・入れ替え	1.1
心嚢ドレーンの抜去	1.1
胸腔ドレーンの抜去	1.1
イレウス管の挿入	1.1
診断書の記載	1.1
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	1.0
気管挿管の再挿管の実施	1.0
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	1.0
表創(非感染創)の縫合	0.4
胸腔穿刺	0.0
心嚢穿刺	0.0
腹腔穿刺	0.0

添付資料2 薬剤師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	56.5
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	13.0
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	12.6
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	12.2
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	9.4
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	9.0
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	8.8
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	8.6
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	8.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	8.2
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の・用法設計	8.2
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	7.6
抗菌薬の投与実施	5.2
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	5.0
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	4.2
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	4.0
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	3.8
経腸栄養剤の処方	3.4
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	2.9
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	2.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	2.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	2.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	2.3
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	2.3
抗菌薬の継続処方	2.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	2.1
ネブライザー用薬液の処方	2.1
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	1.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	1.7
簡易血糖測定	1.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	1.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	1.3
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	1.3
緩下剤の処方	1.3
副作用早期発見・発生防止のための採血	1.1
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	1.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	1.1
経腸栄養剤の評価のための採血	1.1
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	1.1
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	1.1
グリセリン浣腸の処方・実施	1.1
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	1.0
患者・家族への治療計画説明	1.0
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.8
輸液剤(等張液；リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	0.6
鎮痛剤の持続皮下投与	0.6
緊急血液検査(血算、生化学等)	0.6
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	0.6
食事内容の決定・変更	0.6
降圧剤の投与	0.4
利尿剤の投与	0.4
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	0.4
高血糖時のインスリンの投与	0.4
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	0.4
抗菌薬の初回処方	0.4
硬膜外チューブの抜去	0.4

添付資料2 薬剤師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
胸部・腹部レントゲン撮影	0.4
麻薬性鎮静剤の投与	0.4
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	0.4
患者・家族への病状説明	0.4
末梢静脈路(留置針使用)確保	0.2
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	0.2
血液製剤の投与	0.2
昇圧剤の投与	0.2
抗不整脈薬の投与	0.2
動脈血採血(Aラインからの採血)	0.2
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.2
肺動脈喫入圧測定	0.2
飲水可能か否かの査定	0.2
イレウス管の挿入	0.2
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	0.2
CVカテーテルの抜去	0.0
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.0
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	0.0
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	0.0
胸部・腹部超音波検査	0.0
心電図12誘導検査	0.0
Aラインの挿入・入れ替え	0.0
Aラインの抜去・圧迫止血	0.0
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	0.0
トラヘルパー挿入	0.0
気管挿管(経口挿管)の実施	0.0
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	0.0
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	0.0
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	0.0
気管挿管チューブの抜管	0.0
気管挿管の再挿管の実施	0.0
NPPV開始	0.0
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	0.0
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	0.0
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	0.0
表創(非感染創)の縫合	0.0
体表面創の抜糸・抜鉤	0.0
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	0.0
胸腔穿刺	0.0
心嚢穿刺	0.0
腹腔穿刺	0.0
腹腔ドレーンの抜去	0.0
心嚢ドレーンの抜去	0.0
胸腔ドレーンの抜去	0.0
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0.0
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.0
飲水開始の決定	0.0
食事開始の決定	0.0
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	0.0
安静度・活動範囲の決定(指示)	0.0
離床(ベッド〜トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	0.0
診断書の記載	0.0
手術記録の記載	0.0
診療情報提供書・紹介状の記載	0.0

添付資料3 臨床工学技士が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
心電図12誘導検査	10.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	10.3
胸部・腹部レントゲン撮影	7.6
動脈血採血(Aラインからの採血)	6.1
肺動脈喫入圧測定	5.0
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	4.4
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	4.2
簡易血糖測定	3.8
胸部・腹部超音波検査	3.6
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	3.6
血液製剤の投与	3.4
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	3.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	2.9
昇圧剤の投与	2.7
降圧剤の投与	2.7
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	2.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	2.5
緊急血液検査(血算、生化学等)	2.5
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	2.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	2.3
抗不整脈薬の投与	2.1
利尿剤の投与	2.1
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	2.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	2.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	1.9
Aラインの抜去・圧迫止血	1.9
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	1.7
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	1.5
NPPV開始	1.5
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	1.3
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.8
副作用早期発見・発生防止のための採血	0.8
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	0.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.8
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.8
トラヘルパー挿入	0.8
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.8
末梢静脈路(留置針使用)確保	0.6
高血糖時のインスリンの投与	0.6
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	0.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	0.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	0.6
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	0.6
経腸栄養剤の評価のための採血	0.6
Aラインの挿入・入れ替え	0.6
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	0.6
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	0.4
抗菌薬の投与実施	0.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	0.4
ネブライザー用薬液の処方	0.4
気管挿管チューブの抜管	0.4
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0.4
患者・家族への治療計画説明	0.4
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	0.4
CVカテーテルの抜去	0.2
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	0.2
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	0.2

添付資料3 臨床工学技士が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	0.2
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	0.2
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	0.2
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	0.2
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.2
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.2
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.2
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.2
気管挿管(経口挿管)の実施	0.2
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.2
麻薬性鎮静剤の投与	0.2
気管挿管の再挿管の実施	0.2
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	0.2
体表面創の抜糸・抜鉤	0.2
腹腔ドレーンの抜去	0.2
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	0.2
患者・家族への病状説明	0.2
手術記録の記載	0.2

添付資料4 理学療法士が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
飲水可能か否かの査定	2.7
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	2.7
安静度・活動範囲の決定(指示)	2.3
抜管に向けた呼吸器ウィニングスケジュールの作成	1.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	1.5
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	1.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	1.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	1.3
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	1.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	1.3
飲水開始の決定	1.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	1.1
心電図12誘導検査	1.1
食事開始の決定	1.0
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.8
NPPV開始	0.6
食事内容の決定・変更	0.6
診療情報提供書・紹介状の記載	0.6
簡易血糖測定	0.4
胸部・腹部レントゲン撮影	0.4
胸部・腹部超音波検査	0.4
患者・家族への治療計画説明	0.4
末梢静脈路(留置針使用)確保	0.2
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.2
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	0.2
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.2
経腸栄養剤の評価のための採血	0.2
動脈血採血(Aラインからの採血)	0.2
緊急血液検査(血算、生化学等)	0.2
患者・家族への病状説明	0.2

添付資料5 臨床検査技師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
心電図12誘導検査	74.4
胸部・腹部超音波検査	59.5
緊急血液検査(血算、生化学等)	52.5
胸部・腹部レントゲン撮影	29.6
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	10.7
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	10.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	10.5
副作用早期発見・発生防止のための採血	10.1
経腸栄養剤の評価のための採血	10.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	9.7
簡易血糖測定	8.6
肺動脈喫入圧測定	3.2
動脈血採血(Aラインからの採血)	1.5
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	1.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	0.8
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	0.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	0.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	0.6
末梢静脈路(留置針使用)確保	0.4
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	0.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	0.4
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.4
Aラインの挿入・入れ替え	0.4
Aラインの抜去・圧迫止血	0.4
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	0.4
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	0.4
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	0.2
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	0.2
血液製剤の投与	0.2
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.2
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	0.2
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	0.2
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	0.2
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	0.2
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.2
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	0.2
経腸栄養剤の処方	0.2
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.2
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.2
腹腔ドレーンの抜去	0.2
心嚢ドレーンの抜去	0.2
胸腔ドレーンの抜去	0.2
患者・家族への治療計画説明	0.2
昇圧剤の投与	0.0
降圧剤の投与	0.0
抗不整脈薬の投与	0.0
利尿剤の投与	0.0
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	0.0
高血糖時のインスリンの投与	0.0
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	0.0
CVカテーテルの抜去	0.0
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	0.0
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.0
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.0
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	0.0

添付資料5 臨床検査技師が実施している医療処置(医師回答N=524)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	0.0
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.0
薬剤の経管投与時の錠剤粉碎・脱カプセル	0.0
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	0.0
抗菌薬の初回処方	0.0
抗菌薬の継続処方	0.0
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	0.0
抗菌薬の投与実施	0.0
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.0
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.0
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量・用法設計	0.0
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	0.0
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	0.0
硬膜外チューブの抜去	0.0
鎮痛剤の持続皮下投与	0.0
トラヘルパー挿入	0.0
気管挿管(経口挿管)の実施	0.0
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	0.0
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.0
麻薬性鎮静剤の投与	0.0
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	0.0
ネブライザー用薬液の処方	0.0
気管挿管チューブの抜管	0.0
気管挿管の再挿管の実施	0.0
NPPV開始	0.0
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	0.0
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	0.0
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	0.0
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	0.0
表創(非感染創)の縫合	0.0
体表面創の抜糸・抜鉤	0.0
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	0.0
胸腔穿刺	0.0
心嚢穿刺	0.0
腹腔穿刺	0.0
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0.0
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.0
飲水可能か否かの査定	0.0
飲水開始の決定	0.0
食事開始の決定	0.0
食事内容の決定・変更	0.0
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	0.0
イレウス管の挿入	0.0
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	0.0
緩下剤の処方	0.0
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	0.0
グリセリン浣腸の処方・実施	0.0
安静度・活動範囲の決定(指示)	0.0
離床(ベッド〜トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	0.0
患者・家族への病状説明	0.0
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	0.0
診断書の記載	0.0
手術記録の記載	0.0
診療情報提供書・紹介状の記載	0.0

添付資料6 看護師が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	97.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	97.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	96.6
簡易血糖測定	96.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	96.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	94.8
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	93.2
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	90.4
輸液剤(等張液; リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	89.8
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	89.7
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	89.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	89.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	88.9
高血糖時のインスリンの投与	87.9
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	87.6
経腸栄養剤の評価のための採血	87.2
輸液剤(高張液; グリセロール、マニトール等)の投与	85.2
副作用早期発見・発生防止のための採血	84.6
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	83.1
利尿剤の投与	83.0
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	81.8
抗菌薬の投与実施	79.1
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	78.9
血液製剤の投与	77.7
心電図12誘導検査	77.6
昇圧剤の投与	77.5
降圧剤の投与	77.2
末梢静脈路(留置針使用)確保	72.7
薬剤の経管投与時の錠剤粉碎・脱カプセル	70.9
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	67.7
抗不整脈薬の投与	67.5
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	66.5
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	63.6
グリセリン浣腸の処方・実施	59.2
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	57.9
麻薬性鎮静剤の投与	55.4
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	55.3
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	47.4
動脈血採血(Aラインからの採血)	47.2
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	43.4
食事内容の決定・変更	42.7
緊急血液検査(血算、生化学等)	35.8
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	28.5
Aラインの抜去・圧迫止血	27.3
飲水可能か否かの査定	27.1
鎮痛剤の持続皮下投与	26.2
患者・家族への治療計画説明	25.3
患者・家族への病状説明	21.0
肺動脈喫入圧測定	20.0
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	19.4
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	15.7
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	15.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	13.9
安静度・活動範囲の決定(指示)	12.8
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	12.0
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	11.7
NPPV開始	10.9

添付資料6 看護師が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	10.8
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	10.7
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	10.4
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	10.3
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	9.7
飲水開始の決定	9.1
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	8.7
手術記録の記載	7.5
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	7.2
診療情報提供書・紹介状の記載	6.9
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	6.8
CVカテーテルの抜去	6.6
食事開始の決定	6.6
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	3.5
抗菌薬の初回処方	3.4
ネブライザー用薬液の処方	3.4
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	3.3
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	2.9
硬膜外チューブの抜去	2.9
経腸栄養剤の処方	2.8
緩下剤の処方	2.7
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	2.5
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	2.3
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	2.2
抗菌薬の継続処方	2.0
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	1.8
トラヘルパー挿入	1.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)	1.6
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	1.6
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養製剤の処方	1.5
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	1.3
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	1.3
胸部・腹部超音波検査	1.2
気管挿管(経口挿管)の実施	1.0
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.9
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	0.9
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養製剤の処方の評価のための検査オーダー	0.9
気管挿管チューブの抜管	0.9
体表面創の抜糸・抜鉤	0.9
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	0.9
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	0.8
胸部・腹部レントゲン撮影	0.7
Aラインの挿入・入れ替え	0.6
イレウス管の挿入	0.6
診断書の記載	0.6
表創(非感染創)の縫合	0.4
腹腔ドレーンの抜去	0.4
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.3
気管挿管の再挿管の実施	0.3
胸腔ドレーンの抜去	0.3
胸腔穿刺	0.1
腹腔穿刺	0.1
心嚢ドレーンの抜去	0.1
心嚢穿刺	0.0

添付資料7 薬剤師が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	48.8
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	15.1
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	13.6
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	13.4
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	11.6
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	11.3
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	11.1
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	8.0
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	7.4
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	6.2
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)	4.1
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	3.8
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	3.4
抗菌薬の投与実施	2.9
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	2.6
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	2.6
経腸栄養剤の処方	1.7
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	1.5
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	1.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	1.2
簡易血糖測定	1.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.9
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.9
患者・家族への治療計画説明	0.9
ネブライザー用薬液の処方	0.9
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	0.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	0.8
抗菌薬の継続処方	0.8
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	0.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	0.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	0.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	0.7
麻薬性鎮静剤の投与	0.7
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	0.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	0.6
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	0.6
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.5
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.5
緩下剤の処方	0.5
高血糖時のインスリンの投与	0.4
副作用早期発見・発生防止のための採血	0.4
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.4
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.4
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	0.4
輸液剤(等張液; リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	0.3
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	0.3
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.3
抗菌薬の初回処方	0.3
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	0.3
動脈血採血(Aラインからの採血)	0.3
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	0.3
患者・家族への病状説明	0.3
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	0.3
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	0.3
グリセリン浣腸の処方・実施	0.3
輸液剤(高張液; グリセロール、マニトール等)の投与	0.2

添付資料7 薬剤師が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
利尿剤の投与	0.2
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	0.2
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	0.2
経腸栄養剤の評価のための採血	0.2
心電図12誘導検査	0.2
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.2
手術記録の記載	0.2
診療情報提供書・紹介状の記載	0.2
血液製剤の投与	0.1
抗不整脈薬の投与	0.1
鎮痛剤の持続皮下投与	0.1
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.1
緊急血液検査(血算、生化学等)	0.1
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	0.1
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	0.1
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	0.1
表創(非感染創)の縫合	0.1
食事内容の決定・変更	0.1

添付資料8 臨床工学技士が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	13.9
胸部・腹部レントゲン撮影	7.1
心電図12誘導検査	6.3
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	5.5
肺動脈喫入圧測定	5.4
動脈血採血(Aラインからの採血)	5.2
胸部・腹部超音波検査	5.2
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	5.2
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	2.9
輸液剤(等張液；リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	2.5
緊急血液検査(血算、生化学等)	2.3
末梢静脈路(留置針使用)確保	2.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	2.0
簡易血糖測定	2.0
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	2.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	1.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	1.9
血液製剤の投与	1.8
NPPV開始	1.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	1.6
副作用早期発見・発生防止のための採血	1.4
Aラインの抜去・圧迫止血	1.2
輸液剤(高張液；グリセロール、マニトール等)の投与	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	0.9
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	0.9
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	0.9
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	0.8
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	0.8
手術記録の記載	0.8
Aラインの挿入・入れ替え	0.7
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	0.5
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.5
昇圧剤の投与	0.4
降圧剤の投与	0.4
利尿剤の投与	0.4
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	0.4
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0.4
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.4
抗不整脈薬の投与	0.3
CVカテーテルの抜去	0.3
経腸栄養剤の評価のための採血	0.3
トラヘルパー挿入	0.3
気管挿管(経口挿管)の実施	0.3
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	0.3
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	0.3
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	0.3
高血糖時のインスリンの投与	0.3
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.3
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	0.3
気管挿管チューブの抜管	0.3
飲水可能か否かの査定	0.3
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	0.2
抗菌薬の投与実施	0.2
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.2

添付資料8 臨床工学技士が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	0.2
患者・家族への病状説明	0.2
患者・家族への治療計画説明	0.2
診療情報提供書・紹介状の記載	0.2
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	0.1
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	0.1
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	0.1
抗菌薬の初回処方	0.1
抗菌薬の継続処方	0.1
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	0.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)	0.1
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	0.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	0.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.1
経腸栄養剤の処方	0.1
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.1
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.1
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	0.1
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	0.1
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	0.1
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.1
麻薬性鎮静剤の投与	0.1
ネブライザー用薬液の処方	0.1
飲水開始の決定	0.1
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	0.1
イレウス管の挿入	0.1
緩下剤の処方	0.1
安静度・活動範囲の決定(指示)	0.1
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	0.1

添付資料9 理学療法士が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	3.8
安静度・活動範囲の決定(指示)	3.4
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	2.9
飲水可能か否かの査定	2.9
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	2.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	1.6
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.6
患者・家族への治療計画説明	1.2
診療情報提供書・紹介状の記載	1.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	0.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	0.9
飲水開始の決定	0.9
食事開始の決定	0.8
心電図12誘導検査	0.6
患者・家族への病状説明	0.6
食事内容の決定・変更	0.5
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	0.4
NPPV開始	0.4
副作用早期発見・発生防止のための採血	0.3
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	0.3
経腸栄養剤の評価のための採血	0.3
緊急血液検査(血算、生化学等)	0.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	0.3
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	0.3
簡易血糖測定	0.3
胸部・腹部レントゲン撮影	0.3
胸部・腹部超音波検査	0.3
肺動脈吸入圧測定	0.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.2
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.2
抗菌薬の投与実施	0.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	0.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	0.1
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.1
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.1
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.1
動脈血採血(Aラインからの採血)	0.1
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	0.1
麻薬性鎮静剤の投与	0.1
ネブライザー用薬液の処方	0.1
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	0.1
胸腔ドレーンの抜去	0.1
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0.1
緩下剤の処方	0.1
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	0.1
グリセリン浣腸の処方・実施	0.1
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	0.1
診断書の記載	0.1

添付資料10 臨床検査技師が実施している医療処置(看護師回答N=1,158)※高いものから順に表示

医療処置項目	%
心電図12誘導検査	70.0
緊急血液検査(血算、生化学等)	52.5
胸部・腹部超音波検査	49.5
胸部・腹部レントゲン撮影	25.7
副作用早期発見・発生防止のための採血	18.0
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	17.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	16.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	15.9
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	15.6
経腸栄養剤の評価のための採血	15.2
簡易血糖測定	10.2
肺動脈吸入圧測定	3.9
動脈血採血(Aラインからの採血)	2.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	1.3
末梢静脈路(留置針使用)確保	1.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	1.1
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	0.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	0.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	0.9
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	0.6
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	0.5
抗菌薬の投与実施	0.5
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	0.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)	0.4
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	0.3
輸液剤(等張液; リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	0.3
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	0.3
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	0.3
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	0.3
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	0.3
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	0.3
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	0.3
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	0.3
抜管に向けた呼吸器ウィニングスケジュールの作成	0.2
血液剤の投与	0.2
Aラインの抜去・圧迫止血	0.2
Aラインの挿入・入れ替え	0.2
経腸栄養剤の処方	0.2
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	0.2
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	0.1
NPPV開始	0.1
輸液剤(高張液; グリセロール、マニトール等)の投与	0.1
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	0.1
手術記録の記載	0.1
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	0.1
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	0.1
高血糖時のインスリンの投与	0.1
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	0.1
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	0.1
患者・家族への病状説明	0.1
診療情報提供書・紹介状の記載	0.1
抗菌薬の継続処方	0.1
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	0.1
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	0.1
安静度・活動範囲の決定(指示)	0.1
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	0.1